

野村米ドル円3.5倍ブル・ベア (ブル・円安トレンド)

償還運用報告書(全体版)

第2期(償還日2017年2月6日)

作成対象期間(2016年2月9日~2017年2月6日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
このたび、約款の規定にもとづき償還決算を行い、償還価額が決定いたしました。
ここに設定日から償還までの運用経過をご報告いたしますとともに、ご愛顧に対し厚く御礼申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/その他資産(通貨)/特殊型(ブル・ベア型)
信託期間	2015年2月12日から2017年2月6日までです。
運用方針	選択権付き為替予約取引を積極的に活用し、日々の基準価額の値動きが円から見た米国ドルの日々の値動きの概ね3.5倍程度となる投資成果を目指して運用を行います。
主な投資対象	円建ての短期公社債等の短期有価証券を主要投資対象とし、選択権付き為替予約取引を利用します。
主な投資制限	株式への投資割合は信託財産の純資産総額の30%以内とします。
分配方針	毎決算時に、原則として利子・配当等収益等を中心に基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104
(受付時間) 営業日の午前9時~午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

○設定以来の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額		債組入比率	債券 先物比率	純資産額
		税分 込配 み金	騰落 中率			
(設定日) 2015年2月12日	円 銭 10,000	円 —	% —	% —	% —	百万円 30
1期(2016年2月8日)	9,024	0	△ 9.8	63.1	—	79
(償還時) 2期(2017年2月6日)	(償還価額) 7,963.28	—	△11.8	—	—	47

*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

*当ファンドは、日々の基準価額の値動きが円から見た米国ドルの日々の値動きの概ね3.5倍程度となることを目指して運用を行うため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

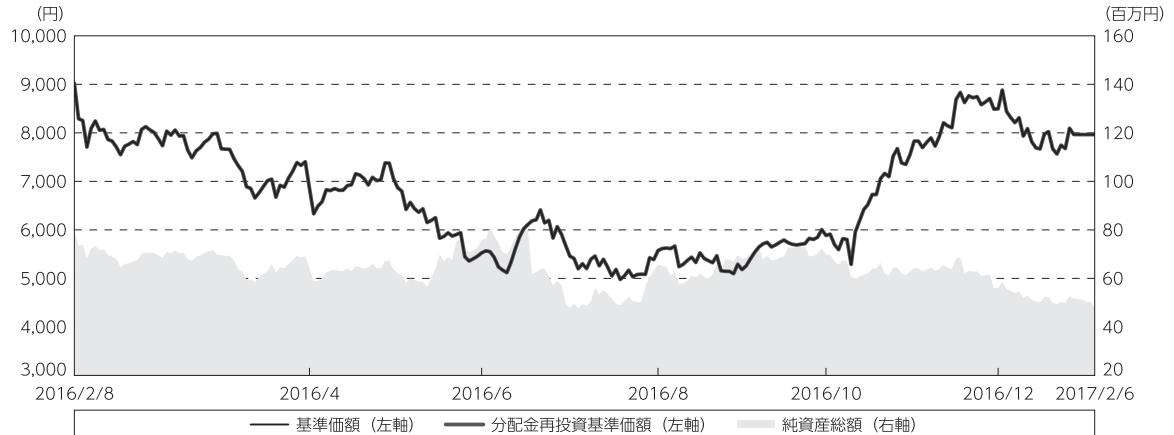
年月日	基準	価額		債組入比率	債券 先物比率	騰落率
		騰落	率			
(期首) 2016年2月8日	円 銭 9,024		% —	% 63.1	% —	
2月末	7,821		△13.3	—	—	
3月末	7,663		△15.1	—	—	
4月末	6,855		△24.0	—	—	
5月末	7,375		△18.3	—	—	
6月末	5,526		△38.8	—	—	
7月末	5,681		△37.0	—	—	
8月末	5,574		△38.2	—	—	
9月末	5,181		△42.6	—	—	
10月末	5,885		△34.8	—	—	
11月末	7,545		△16.4	—	—	
12月末	8,494		△ 5.9	—	—	
2017年1月末	7,965		△11.7	—	—	
(償還時) 2017年2月6日	(償還価額) 7,963.28		△11.8	—	—	

*騰落率は期首比です。

*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2016年2月8日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首9,024円から償還時7,963円28銭に1,060円72銭の値下がりになりました。

ドル円相場はFRB(米連邦準備制度理事会)の追加利上げ観測が後退したことや、英国のEU(欧州連合)離脱を問う国民投票の結果を受けて、米ドルは円に対して下落(円高)し、基準価額は下落しました。11月中旬以降、トランプ氏の政策に対する期待から市場のリスク選好の動きが強まったこと等から、米ドルは円に対して上昇(円安)し、基準価額は上昇しましたが、期を通すと基準価額は下落しました。

○投資環境

期首から、FRB（米連邦準備制度理事会）の追加利上げ観測が後退したことや、市場の一部で期待されていた日銀による追加金融緩和が見送られたことから、米ドルは円に対して下落（円高）しました。

6月以降は米国で利上げ観測が後退したことや、英国のEU（欧州連合）離脱を問う国民投票の結果を受けて、米ドルは円に対して下落（円高）しました。

11月中旬以降は、米国で利上げ観測が高まったことや、トランプ氏の政策に対する期待から市場のリスク選好の動きが強まったことから、米ドルは円に対して上昇（円安）しました。



*ブルームバーグが発表する15:00近辺の為替レートを基に作成

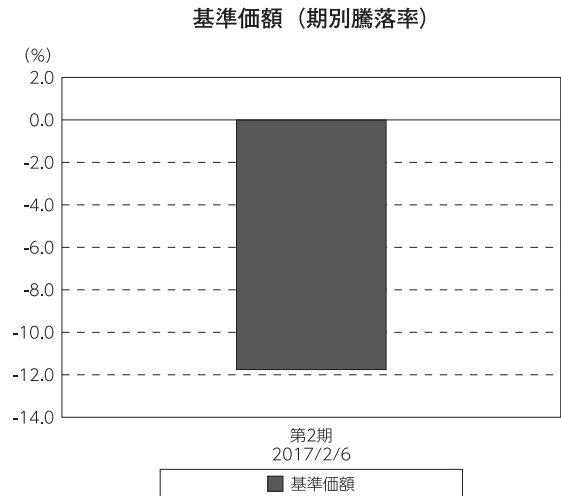
○当ファンドのポートフォリオ

わが国の短期公社債、コール・ローン等に投資すると共に、選択権付き為替予約取引を活用し、純資産総額に対する実質的な為替予約額の比率を35%程度に維持してまいりました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、日々の基準価額の値動きが円から見た米国ドルの日々の値動きの概ね3.5倍程度となることを目指して運用を行うため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。

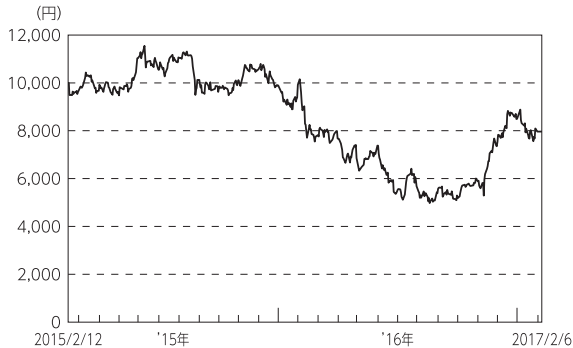


◎分配金

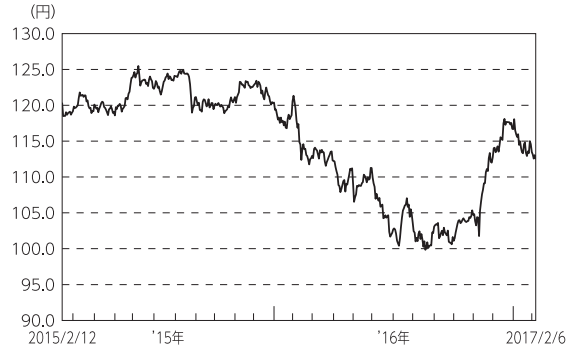
償還のため分配は行いませんでした。

◎設定来の運用経過

＜設定来の基準価額の推移＞



＜ドルの対円レートの推移＞



（注）ブルームバーグが発表する15:00近辺の為替レートを基に作成

◎基準価額の推移

基準価額は、設定時10,000円が償還時7,963円28銭となりました。設定来のお支払した分配金は1万口当たり0円となりました。

◎基準価額の主な変動要因

第1期（2015年2月12日～2016年2月8日）

設定時から2015年12月上旬にかけては方向感のない展開となりましたが、12月上旬から期末にかけては世界の主要株式相場の下落に加え、ユーロ圏の信用不安も意識されたことで、「低リスク通貨」とされる円に買いが広がり、米ドルが対円で下落（円高）しました。

基準価額は10,000円から9,024円に下落しました。

第2期（2016年2月9日～2017年2月6日）

期首から、FRB（米連邦準備制度理事会）の追加利上げ観測が後退したことや、市場の一部で期待されていた日銀による追加金融緩和が見送られたことから、米ドルは円に対して下落（円高）しました。

6月以降は米国で利上げ観測が後退したことや、英国のEU（欧州連合）離脱を問う国民投票の結果を受けて、米ドルは円に対して下落（円高）しました。

11月中旬以降は、米国で利上げ観測が高まったことや、トランプ氏の政策に対する期待から市場のリスク選好の動きが強まったことから、米ドルは円に対して上昇（円安）しました。

基準価額は9,024円から7,963円28銭に下落しました。

○1万口当たりの費用明細

(2016年2月9日～2017年2月6日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 85	% 1.257	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(40)	(0.591)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(40)	(0.591)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(5)	(0.075)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	1	0.018	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(1)	(0.016)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	86	1.275	
期中の平均基準価額は、6,797円です。			

- * 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2016年2月9日～2017年2月6日)

公社債

		買 付 額	売 付 額
国 内	国債証券	千円 190,204	千円 240,306

* 金額は受け渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

* 単位未満は切り捨て。

○派生商品の取引状況等

(2016年2月9日～2017年2月6日)

オプションの銘柄別取引・残高状況

銘	柄	別	コール・ プット別	買				建				売				当 期 末 評 価 額		
				新 規 買 付 額	決 済 額	権 利 行 使	権 利 使 放	新 規 売 付 額	決 済 額	権 利 被 行 使	権 利 消 滅	義 務 消 滅	買 建 額	売 建 額	評 価 損 益	評 価 損 益	評 価 損 益	
国	内	通貨オプション取引	ドル	コール プット	百万円 844	百万円 846	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 844	百万円 852	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —
					—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

*単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2016年2月9日～2017年2月6日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○自社による当ファンドの設定、解約状況

(2016年2月9日～2017年2月6日)

期首残高 (元 本)	当期設定 元 本	当期解約 元 本	期末残高 (元 本)	取 引 の 理 由
百万円 30	百万円 —	百万円 —	百万円 30	当初設定時における取得

○特定資産の価格等の調査

当ファンドにおいて行った取引のうち、投資信託及び投資法人に関する法律により価格等の調査が必要とされた資産の取引については、新日本有限責任監査法人へその調査を委託しました。対象期間中（平成28年1月27日～平成29年2月6日）に該当した取引は、オプション取引（為替店頭オプション取引）が986件あり、当該取引については当該監査法人からの調査報告書を受領しました。

なお、オプション取引（為替店頭オプション取引）については、通貨の種類、プット又はコールの別、数量その他の当該オプション取引（為替店頭オプション取引）の内容に関することについて調査を委託しました。

○組入資産の明細

(2017年2月6日現在)

2017年2月6日現在、有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2017年2月6日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 50,770	% 100.0
投資信託財産総額	50,770	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2017年2月6日現在)

項 目	償 還 時
	円
(A) 資産	50,770,781
コール・ローン等	50,770,781
(B) 負債	3,150,347
未払解約金	2,763,855
未払信託報酬	385,828
未払利息	69
その他未払費用	595
(C) 純資産総額(A-B)	47,620,434
元本	59,800,000
償還差損金	△12,179,566
(D) 受益権総口数	59,800,000口
1万口当たり償還価額(C/D)	7,963円28銭

(注) 期首元本額は87,930,000円、期中追加設定元本額は232,440,000円、期中一部解約元本額は260,570,000円、1口当たり純資産額は0.796328円です。

○損益の状況 (2016年2月9日～2017年2月6日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 10,298
受取利息	50
支払利息	△ 10,348
(B) 有価証券売買損益	△ 3
売買益	△ 8
売買損	5
(C) 先物取引等取引損益	12,167,528
取引益	158,512,601
取引損	△146,345,073
(D) 信託報酬等	△ 813,377
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	11,343,850
(F) 前期繰越損益金	△ 736,470
(G) 追加信託差損益金	△ 22,786,946
(配当等相当額)	(1,272)
(売買損益相当額)	(△ 22,788,218)
償還差損金(E+F+G)	△ 12,179,566

*損益の状況の中で(D)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2015年2月12日			投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2017年2月6日			資産総額	50,770,781円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	3,150,347円	
				純資産総額	47,620,434円	
受益権口数	30,000,000口	59,800,000口	29,800,000口	受益権口数	59,800,000口	
元本額	30,000,000円	59,800,000円	29,800,000円	1万口当たり償還金	7,963円28銭	
毎計算期末の状況						
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金		
				金額	分配率	
第1期	87,930,000円	79,346,586円	9,024円	0円	0%	

○償還金のお知らせ

1万口当たり償還金（税込み）	7,963円28銭
----------------	-----------

○お知らせ

該当事項はございません。